

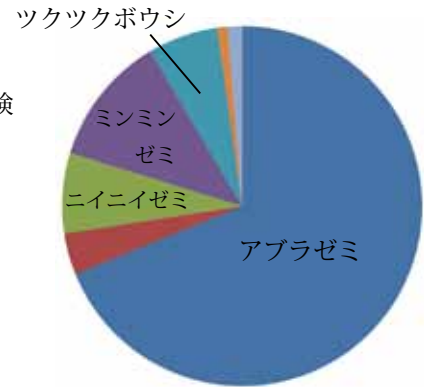
セミの抜け殻調査 2009 結果速報

セミの抜け殻しらべ 市民ネットは、セミの抜け殻による自然環境モニタリングの科学的な手法を確立するため、2009 年度から (財) 日本自然保護協会の自然観察指導員有志を中心に、全国で基礎的な情報を収集しています。この結果速報は、2009 年度に収集した調査データについて集計、傾向について速報したものです。

●調査について

- ・調査手法 調査マニュアルを参照。
- ・集計対象 コア、サブサイトに関わらず、抜け殻の種名を専門家が再検討できた地点を対象としました。
- ・地区別の調査地点と調査者数

北海道	1 地点	10 名		
東北	1 地点	1 名	中部	2 地点 7 名
関東	18 地点	57 名	甲信越	2 地点 1 名
関西	10 地点	14 名	合計	34 地点 90 名



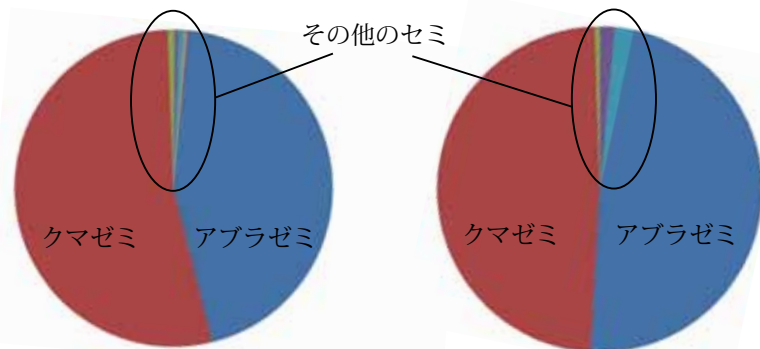
セミの収集割合 (総数 = 32,121 個)

●結果速報

- ・収集したセミ (収集数の多い順) アブラゼミ・ミンミンゼミ・ニイニイゼミ・ツクツクボウシ・クマゼミ・エゾハルゼミ・ヒグラシ・エゾゼミ・コエゾゼミ

・土地利用や植生との関わり

宅地などで周辺緑地から孤立した公園の発生割合を図示しました。植栽が主であるとクマゼミの比率が高まること、クマゼミ・アブラゼミ以外の種類の割合が減少する (○の部分に注目) などの傾向が読み取れます。これは、人為的な植生であると、発生する種類が単純になることを示すものです。



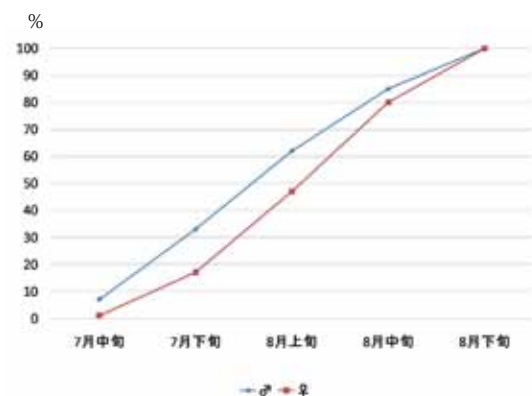
公園におけるセミの発生割合の一例 (関西)

主たる植生は、左図が植栽、右図が自生。

・発生について

左図は、アブラゼミの収集総数 (関西) を 100% とした場合、各旬の発生率を図示したものです。線が急だと、たくさん見つけ、逆だと少ないことになります。♂は、7 月中下旬に線が少し急であるため、この期間が発生のピークと言えます。♀は、7 月下旬～8 月上旬で、♂より遅いことが分かります。

羽化は、地上の天候で左右されるという研究があり、年度ごとの発生消長との関連があれば、環境指標として使えるかもしれません。さらなるデータの蓄積が必要と思われます。



●集計速報をふまえて

関西のデータをもとに、発生割合や発生消長をまとめてみました。植生とセミの発生割合は、指標性があるものが示せました。しかし、発生消長は、その指標性の有無も含め、基礎的なデータの蓄積が必要なことも分かりました。まだ、調査地点も少なく、全国展開もこれからです。調査は特別な機材や知識を必要としません。調査に参加したいという方は、田邊までメールでご連絡ください。

編集・発行 セミの抜け殻しらべ 市民ネット (会長 田邊貞幸 stchildhappy@yahoo.co.jp) 2009.11.1 発行

※本冊子の転載・改変等については、右記にご連絡ください。 enjukamemushi2007@mj.scn-net.ne.jp